

科目名	地理学特殊講義A
科目名(英訳)	Special lecture on Geography A
科目ナンバー	HH334A01
担当者 (非)は非常勤講師	大塚 俊幸
単位数	2
開講学年	3年
開講セメスター	春期毎週
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 大塚 俊幸: 木1-2
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	地理学分野テーマ科目。基礎をふまえた上で特定のテーマについて考察する応用的科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ②:◎ ③-(1):○ ③-(2):○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 思考力 学び続ける能力

授業の主旨 (概要)	本講義では、「都市地理学から都市計画へのアプローチ」というテーマで講義を行う。都市地理学は、都市地域を研究対象とし、人間の諸活動を地域的な視点に立って、その分布や構造の分析により一般的法則性を探求する科学である。一方、都市計画は、都市という物的な生活空間をどのようにつくっていくかという問題に対する計画的な取り組みであり、そのベースにはその都市の現状に対する正しい理解が必要となる。そこに都市地理学と都市計画との接点がある。本講義では、現代のいくつかの都市問題を取り上げ、その背後に潜む要因やそれらに対する都市政策の例について学ぶとともに、都市計画の歴史・理念および個別の計画立案の方法などについて、具体的な事例を紹介しながら講義を行う。 【実務経験のある教員等による授業科目】 実務経験内容: まちづくりコンサルタント会社において自治体等の各種計画づくりやまちづくり活動を支援 授業内容との関連性: 都市の現状を分析し、都市政策を立案するための考え方や方法を、自身の経験を踏まえて講義する。		
具体的 達成目標	(1) 都市地理学的な視点から現代の都市問題について考察する能力を養うことができる。 (2) 都市計画に関わる基礎的な知識を修得することができる。 (3) 都市の現況分析結果を政策・計画に結びつけるための基礎的な能力を養うことができる。		
授業計画	1	【内容】	都市地理学と都市計画
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 あなたにとって魅力ある都市とはどのような都市かを考え、文章で簡潔にまとめる。
	2	【内容】	古典的都市問題と近代都市計画の萌芽
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 近代都市計画が誕生した時代背景とその後の都市計画の大きな方向性について、文章で簡潔にまとめる。
	3	【内容】	都市計画の歴史と思想(1)
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 オスマンのバリ改造事業の図と現在のバリの道路基盤とを比較してわかったことを、文章で簡潔にまとめる。
	4	【内容】	都市計画の歴史と思想(2)
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 現在のロンドン郊外の景観をGoogle Earth等で確認して考えたことを、文章で簡潔にまとめる。
	5	【内容】	都市計画の歴史と思想(3)
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。
	6	【内容】	欧米の計画制度
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 ヨーロッパとアメリカ合衆国の計画制度の相違点、およびイギリスとドイツの計画制度の相違点について、文章で簡潔

		にまとめる。
	7	【内容】日本の都市の特徴と都市問題 【授業外学習】各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。現代日本で起きているさまざまな都市問題の背後にどのような要因が潜んでいるか、文章で簡潔にまとめる。
	8	【内容】日本の都市計画制度とその変遷 【授業外学習】各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。日本の都市計画制度がどのような時代背景のもと改正を繰り返してきたか、文章で簡潔にまとめる。
	9	【内容】都市計画事業の仕組み 【授業外学習】各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。
	10	【内容】都市計画マスタープラン 【授業外学習】各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。さまざまな自治体の都市計画マスタープランを参照し、気づいたと、考えたことなどを、文章で簡潔にまとめる。
	11	【内容】将来都市構造図の作成 【授業外学習】各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。自治体のHPを閲覧し、さまざまな将来都市構造図の表現内容を整理する。
	12	【内容】将来都市構想の作成 【授業外学習】各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。自治体のHPを閲覧し、さまざまな将来都市構想の表現内容を整理する。
	13	【内容】人口減少時代の都市計画・地域計画 【授業外学習】各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。コンパクトシティ政策として、全国の自治体でどのような取り組みが行われているかを、おおまかに分類する。
	14	【内容】地域資源を活かしたまちづくり 【授業外学習】各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。地域資源を活かしたまちづくりの実践例から得られた教訓を、文章で簡潔にまとめる。(8/7まで)
	15	【内容】まとめ 【授業外学習】講義全体を振り返ってポイントを整理したうえで、各自のレポートの自己評価を行う。
授業方法	毎回プリントを配布し、基本的には講義形式で行う。なお、課題レポートについては、受講生の人数によっては講義の中で一人ずつ発表してもらう予定である。授業中に課される課題のフィードバックの仕方は、適宜授業を通じて伝える予定である。	
成績の 評価方法	受講態度、課題(レポートの作成と発表)により総合的に評価する。なお、課題レポートは現代の都市問題に対する自分の考えを表現できるか、都市計画に関わる基礎的な知識が修得できているか、都市の現状を踏まえて望ましい都市づくりのための政策を立案することができるか、といった観点から出題する。	
成績の 評価基準	受講態度(30点満点)、期末レポート(70点満点)の合計得点が60点以上を合格とする。	
教科書		
参考文献		